

シニアネット仙台

平成22年 5月

目次

ぐるーぷ・よっこより特集……………1	なんでもシネマ……………5
サロン企画……………2	飛行船俳句会・あしかび短歌会…6
講座案内……………3	グループ活動案内……………7
ハイキングにいきませんか……………4	事務局便り……………8

シニアネット仙台のホームページもどうぞ <http://www.sendai-senior.org/>

満開の桜の下で…ぐるーぷ・よっこより瑞鳳殿研修



4月26日午前十時前、青葉区霊屋下瑞鳳寺の山門前にはぞくぞくと研修受講者が集まり始めた。今日は、「ぐるーぷ・よっこより」の瑞鳳殿についてのボランティア観光ガイド実地研修が行われるのだ。

10時過ぎから受付がはじまった。受付役はよっこよりの世話人6人の中の2人、中道さんと菅野さんが務めた。次々と受講者がチェックされ研修資料が渡された。研修資料はよっこよりの代表である遠藤さんが魂を込めてまとめたものである。研修出発の前に研修

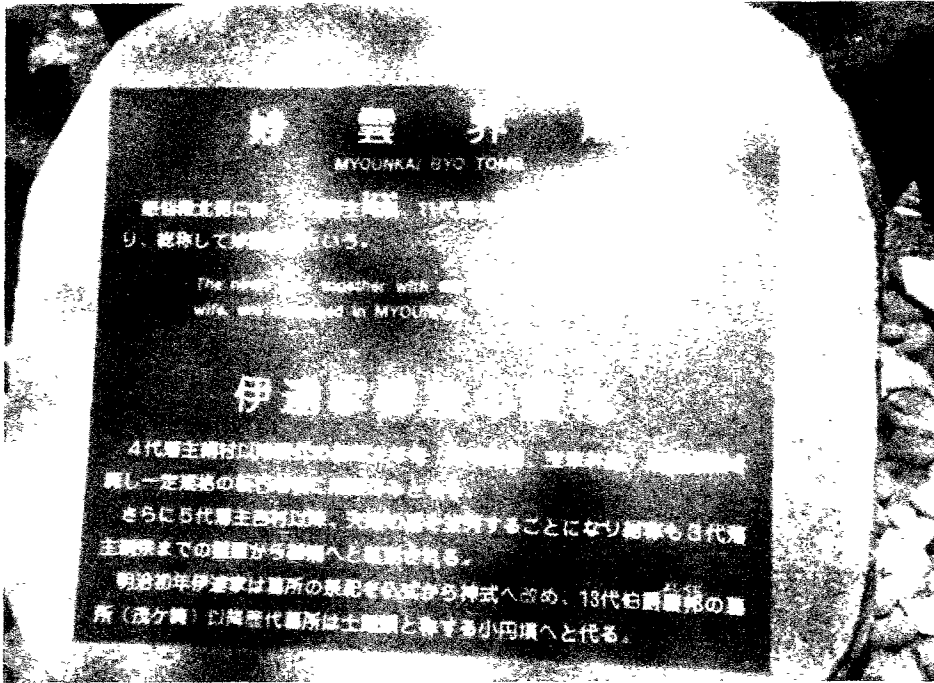
資料についての簡単な説明が本日の講師の遠藤さんから行われた。

10時半、いよいよ研修開始である。今日の研修参加者は総勢37人、その大半は男性であるが、歴女を目指して6人の女性が参加した。62段の石段を登ってそこは瑞鳳殿のあるところである。この62段のいわれは、伊達62万石に由来するという説があるが、特に根拠はないという。

瑞鳳殿の入り口の涅槃門を見下ろすように満開の桜が青空に映えていた。今日はまさに実地研修にぴったり相応しい日和となった。

ここ経が峰は、9世紀満海上人という高僧が仏教の経典を埋めたことに由来し、信仰心に厚





い伊達政宗が生前から、この場所を自らの墓所と定めていたという。政宗は江戸で亡くなったが、その遺骸は石灰に浸けられ、8日を掛けて仙台に運ばれ、そのまま埋葬された。この石灰があったため、政宗の遺骨はほぼ完全な状態で発掘されたとのことである。また、ご遺体は墓所の真ん中でなく左にやや寄ったところにうめられているが、その理由は不明のようだ。

編集子は、次々と披瀝される奥の深い遠藤さんの説明に聞き入ってしまい、今日は取材目的で来たことを、ふと忘れるところであった。涅槃門も瑞鳳殿も漆が塗られており、今日は特別に山形から来

て頂いた専門家蜂谷さんから歴史的建築物の塗装に使われた漆についてのお話があった。研修は、最後に感仙殿、善応殿および妙雲界廟の現地説明が行われて12時過ぎに終了した。(文責 伊豆田)

サロン企画

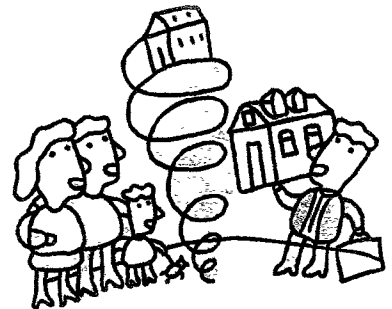
あなたが主役

(減災への7つの備え)

減災とは災害による被害をできるだけ小さくするとりくみです。

まず、あなたからはじめましょう。自助・共助のお知恵を！！

日時 平成22年6月3日 木曜日 午後1時30分から3時まで
 場所 サロンわいわい一番町
 参加費 300円 (コーヒー付き)
 講師 伊藤ゆうみ氏 (災害時支援ボランティア)



サロン企画

漢字話 パートII ～漢字を知れば世界が変わる～

4月8日(木) 午後1時30分から大塚耕志郎氏(書道楽講師)をお迎えして開催いたしました。書体が52種類もあると聞き、漫然と書いていた漢字にこんなにたくさんの種類があることにビックリ！！仙台市内の看板や寺社仏閣の額も注意してみれば、それぞれ変わった書体で書かれたものが多いことに気づかされました。

これからは、街を歩くときに違った書体を探す楽しみができました。また、文字のはじまりは天に向かって自分をさらけ出して、祈りを捧げるものであったと聞き、文字はその人自身なのだ改めて考えさせられ、大塚先生のお話も面白く楽しい時間を過ごすことができました。ありがとうございました。(Y・N)

